

# 5月の野菜の見通し

令和4年4月30日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	7,895	平年 並み	8,887	82	89%	89	0	0.0%	千葉産中心の出回り。早場の産地ではピークすぎて減少するところもあり5月頭までは相場堅調の予想。5月連休後は気温上昇にともない品質低下が現れると相場の軟化も起き得る。前年の単価安から作付減の部分あり予想入荷量は前年比やや減。見通し単価は前年・平年を1割ほど下回る。
はくさい	6,583	平年 並み ～ 少ない	6,785	47	160%	63	-	-	茨城産は転作で作付減の部分あり、予想入荷量は前年・平年をやや下回る予想。長野・群馬産が下旬からで始まる見込みも現状では生育の遅れが見られる。見通し単価は安かった前年を大幅に上回り、平年比でも2割近く上回る。
キャベツ	18,127	平年 並み	18,220	64	109%	88	-	-	神奈川県産が盛期過ぎて減少するも残量ある中、千葉産が最盛期へ。下旬には茨城産も増量して潤沢な出回りに。全体の予想入荷量は前年・平年比微増と数量十分。相場は軟調推移の予想で、見通し単価は安かった前年をやや上回るも平年比では2割下回る。
ほうれん そう	1,601	平年 並み	1,508	372	108%	410	-	-	群馬・茨城産を中心に順調な出荷となる見込み。岐阜や岩手産も出揃って全体量は潤沢。予想入荷量はやや多かった前年並みで平年以上。見通し単価は前年をやや上回り平年並み。
ねぎ	3,763	平年 並み	3,689	415	96%	407	6	0.2%	茨城産の作付けは前年比増、生育順調。初夏ねぎの増加で単価は押し上げられる形となるも、下旬には出荷ピークで相場軟化の気配。予想入荷量は前年比微増で平年をやや上回る。見通し単価は前年・平年並み。

# 5月の野菜の見通し

令和4年4月30日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	7,633	平年 並み	8,565	257	97%	242	63	0.8%	群馬・埼玉等の関東産は生育順調で上旬には例年通り出荷ピークを迎える見込み。価格は上旬に底を打ち、以降は徐々に回復をたどる予想。全体の入荷量は少なかった前年並み～微増。見通し単価は前年・平年並み。
トマト	9,097	平年 並み	9,906	283	95%	269	4	0.0%	熊本・栃木・愛知産中心の出回り。各地、4月中旬までは気温の底が低かったことから、着色の停滞など起きたが、その後は回復傾向も見られ5月は順調なで回りが見込まれる。それでも熊本産での病害や各地の作付減傾向により予想入荷量はやや少なかった前年並み～微減で、平年をやや下回るか。年間では最も多くなる時期のため相場は軟調推移の予想。見通し単価は前年をやや下回り平年並み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)